

年金の「未納」「未加入」「免除」期間がある 60 歳以上の方へ

あなたも国民年金を 増やしませんか？

やむを得ない事情により国民年金保険料を納められなかった期間や、国民年金に加入していなかった期間があると、その期間に応じて年金額が少なくなってしまう。

国民年金には、ご本人の申し出により「60 歳以上 65 歳未満」の 5 年間（納付月数 480 月まで）、国民年金保険料を納めることで、65 歳から受け取る老齢基礎年金を増やすことができる **【任意加入制度】** があります。

国民年金任意加入制度 Q & A

Q. 任意加入に条件はありますか？

A. 次の①～④のすべての条件を満たす方です。

- ① 日本国内に住所を有する 60 歳以上 65 歳未満の方
- ② 老齢基礎年金の繰上げ支給を受けていない方
- ③ 20 歳以上 60 歳未満までの保険料の納付月数が 480 月（40 年）未満の方
- ④ 厚生年金保険に加入していない方

- ・年金の受給資格期間を満たしていない 65 歳以上 70 歳未満の方も加入できます。
- ・外国に居住する日本人で、20 歳以上 65 歳未満の方も加入できます。

Q. 任意加入によるメリットはありますか？

A. ● **65 歳から受け取る老齢基礎年金を増やすことができます。**

納付月数が多くなるほど 65 歳からの年金も多く受け取れます。詳しくは、裏面をご覧ください。

● **万が一の際にも備えられます。**

一定の要件を満たせば、加入期間中に、思わぬ事故や病気で障害が残ったときに障害基礎年金が、一家の働き手が亡くなったときには遺族基礎年金が受け取れます。

● **長生きするほど、生涯に受け取る年金額も多くなります。**

65 歳から年金を受け取った場合、75.2 歳[※]で、納めた保険料の総額に見合う年金を受け取ることができます。

詳しくは、裏面の「年金増加額の例」をご覧ください。

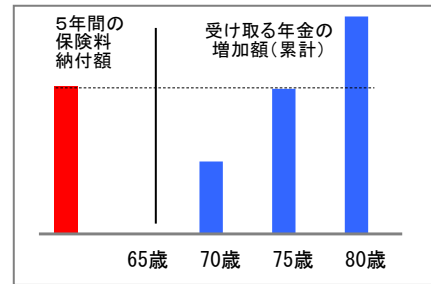
※ 5 年間保険料を納付した場合で算出。

● **納めた保険料は社会保険料控除の対象となります。**

年金増加額の例

5年間加入したと仮定した場合の保険料納付額と年金増加額は次のとおりです。
(令和2年度の保険料額、年金額で計算しています。)

- 5年間の保険料納付額（総額） ……992,400 円
- 65歳から受け取る年金の増加額
 - ・ 70歳 ……約 488,000 円（5年間の総額）
 - ・ 75歳 ……約 977,000 円（10年間の総額）
 - ・ 80歳 ……約 1,465,000 円（15年間の総額）



Q. 毎月の保険料はいくらになりますか？

A. 国民年金の保険料は、月額 16,540 円（令和2年度）です。

保険料の納付方法は口座振替になります。

また、保険料の前払いにより割引される前納制度もあります。

さらに受け取る年金額が増える付加保険料の納付もおすすめです！

毎月の保険料に加えて月額 400 円の付加保険料を納めると、老齢基礎年金とあわせて付加年金を受け取れます。

付加年金額（年額）は、「付加保険料納付月数 × 200 円」で計算します。

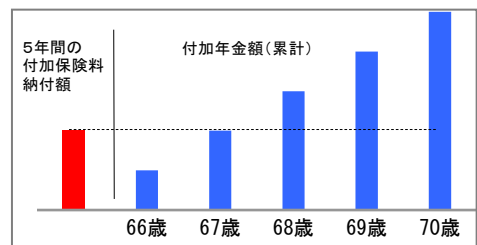
● 60歳から65歳になるまで付加保険料を納めた場合

- ・ 5年間の付加保険料納付額（総額） … 24,000 円（60月 × 400円）
- ・ 付加年金額（年額） …… 12,000 円（60月 × 200円）

つまり、65歳から国民年金を受け取り始めて2年で、付加保険料の合計額に見合う付加年金額を受け取ることができます。

※令和2年度の保険料額、年金額で計算しています。

※付加保険料を納めるには申し込みが必要です。
詳しくは、年金事務所へお問い合わせください。



Q. 任意加入はどこで手続きをすればよいのですか？

A. ご本人がお住まいの市（区）役所または町村役場の国民年金担当窓口です。

手続きの際は、以下のものをご用意ください。

- 年金手帳または基礎年金番号通知書
- 預貯金等通帳、印かん（金融機関届出印）

なお、加入日は申出を行った日です。

ご不明な点は、お住まいの市（区）役所または町村役場（国民年金の担当）、もしくは下記の年金事務所までお問い合わせください。

日本年金機構ホームページ
<https://www.nenkin.go.jp/>

【資料】

国民年金任意加入の保険料納付額および年金増加額表 (令和2年度ベース)

(単位：円)

加入月数	保険料納付額	年金増加額(年額)	加入月数	保険料納付額	年金増加額(年額)	加入月数	保険料納付額	年金増加額(年額)
1	16,540	1,629	21	347,340	34,199	41	678,140	66,770
2	33,080	3,257	22	363,880	35,828	42	694,680	68,399
3	49,620	4,886	23	380,420	37,456	43	711,220	70,027
4	66,160	6,514	24	396,960	39,085	44	727,760	71,656
5	82,700	8,143	25	413,500	40,714	45	744,300	73,284
6	99,240	9,771	26	430,040	42,342	46	760,840	74,913
7	115,780	11,400	27	446,580	43,971	47	777,380	76,541
8	132,320	13,028	28	463,120	45,599	48	793,920	78,170
9	148,860	14,657	29	479,660	47,228	49	810,460	79,799
10	165,400	16,285	30	496,200	48,856	50	827,000	81,427
11	181,940	17,914	31	512,740	50,485	51	843,540	83,056
12	198,480	19,543	32	529,280	52,113	52	860,080	84,684
13	215,020	21,171	33	545,820	53,742	53	876,620	86,313
14	231,560	22,800	34	562,360	55,370	54	893,160	87,941
15	248,100	24,428	35	578,900	56,999	55	909,700	89,570
16	264,640	26,057	36	595,440	58,628	56	926,240	91,198
17	281,180	27,685	37	611,980	60,256	57	942,780	92,827
18	297,720	29,314	38	628,520	61,885	58	959,320	94,455
19	314,260	30,942	39	645,060	63,513	59	975,860	96,084
20	330,800	32,571	40	661,600	65,142	60	992,400	97,713

(注1)：保険料は、16,540円(令和2年度の月額)に任意加入月数を掛けて算出しています。
なお、保険料は毎年度変更される予定ですが、この表ではその変更分を見込んでいません。
ご注意ください。

(注2)：年金増加額は、令和2年度の老齢基礎年金額781,700円に任意加入月数を480月で割った数を乗じて算出しています。

※0.5円未満は切り捨て、0.5円以上は1円単位に切り上げしています。

【例】任意加入月数が23月の場合

$$781,700 \text{円} \times (23 \text{月} \div 480 \text{月}) = 37,456.4 \text{円} \quad (1 \text{円未満が} 0.5 \text{円未満なので切り捨て)} \\ = 37,456 \text{円}$$